

科目名	医薬品安全管理学特論		D3-212	担当教員名	大石 雅子
単位数	2単位		選択	配当年次	1年次・第2 Semester (通期)
曜日・時限	木曜日・5限目			教室	オンライン授業
授業概要	<p>医薬品は医療に欠かせないものであり、医療機関内外で発生するヒヤリハット事例の中でも医薬品に関するものは4割前後を占める。医薬品安全管理は医療機関にとって重要な課題であり、医療者も職種別の別なく十分な理解と認識が必要である。本講義では医薬品の安全管理全般にわたって解説するとともに、参考事例や受講者自身の身近な事例をテーマとして、多職種による自由な討論を交えて理解を深め、実践的な医薬品安全管理の手法を習得する。また医薬品に関する自らの課題を明らかにし、解決の糸口を探る。</p>				
到達目標	<p>1) 医薬品の定義を理解し、特性とそのリスクを挙げることができる。 2) 病院薬剤部門、病棟、外来、介護福祉施設、薬局、在宅等での医薬品管理に関するリスクとその回避法を挙げることができる。 3) 医薬品に関する話題を構成し、提供し、ディスカッションを主催することができる。 4) 医薬品に関する自らの問題点を明らかにし、解決の糸口をつかんで改善提案書が作成できる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	9/22	医薬品安全管理・総論(1)	講義概要の紹介、医薬品の定義の解説を行い、その後、自らの課題について自由に討論する。[ディスカッション]		○
2	9/29	医薬品安全管理・総論(2)	医療法の中の医薬品安全管理の位置づけと管理体制を学ぶ。医薬品関連インシデントや事故発生状況を知り、その背景要因について理解する。[ディスカッション]		○
3	10/6	病院薬剤部門での安全管理(1)	薬剤部門での医薬品取扱いの実情を学ぶ。調剤、注射剤無菌混合調製、院内製剤など医薬品管理に関わるリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
4	10/13	病院薬剤部門での安全管理(2)	麻薬・毒劇薬などの規制薬品等の管理に関わるリスクを理解する。また後発医薬品の安全な使用について考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
5	10/20	病棟・外来、介護福祉施設での安全管理(1)	医薬品を使用する部署での医薬品管理について理解し、近年の病棟薬剤業務の進展とチーム医療について考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
6	10/27	病棟・外来、介護福祉施設での安全管理(2)	ハイリスク薬や規制薬品の安全管理について学び、持参薬使用についてのリスクとベネフィットを考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
7	11/10	セフルメディケーションと在宅医薬品安全管理	一般用医薬品や健康食品に関連する有害事象や安全管理について学ぶ。在宅医療における医薬品管理について考える。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
8	11/17	医薬品開発・製造と安全管理	医薬品開発・製造段階や流通段階での制度と安全管理について学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
9	12/1	ICT利活用と医薬品情報	医薬品安全管理におけるICT利活用、医薬品情報の入手方法やインタビューフォーム、添付文書などの見方を学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
10	12/8	ハイリスク薬の安全管理	ハイリスク薬や話題の医薬品について学び、それらの医薬品安全管理について理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
11	12/15	高齢者・小児・妊婦の薬物療法安全管理	高齢者・小児・妊婦の特性と薬物療法のリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
12	12/22	がん化学療法、栄養療法の薬物療法安全管理	がん化学療法、栄養療法の薬物療法安全管理のリスクを理解する。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
13	1/12	重篤な副作用と副作用救済制度	副作用・相互作用について学び、副作用早期発見やアレルギー情報共有を考える。薬害事例や副作用救済制度について学ぶ。[プレゼンテーション][ディスカッション]		○
14	1/19	医薬品に関連する過誤事例研究	医薬品関連の重大な事故事例を基に取扱いや安全管理について考える。[ディスカッション]		○
15	1/26	習得内容の振り返りと総合討論	習得目標の達成状況について討論し成果を共有する。また、自施設への医薬品安全に関する改善提案書を模擬作成する。[ディスカッション]		○
キーワード		医薬品、安全管理、リスクポイント、対策検討		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	講義中に参考図書等を紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②話題提供(20%)、③討議への参加・貢献(20%)、④改善提案書作成提出(30%) [話題提供とそれに関連するディスカッションへの積極的な参加を評価します。]			
授業時間外で必要な学修		期間中1回、医薬品に関連する話題についての発表10分と、討議座長10～15分を担当していただきます。タイムリーな話題をリサーチしておいてください。			
学生へのメッセージ		医薬品に関連する知識を深め、リスクを認識して安全管理の視点を培いましょう。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。